

お子さんの発達に 心配なことはありませんか

- ◎ まだ寝返りをしない、お座りができない、動きださないというような、「発達が遅いのでは」という心配はありませんか
「ことばの発達が遅いのでは」と悩んではいませんか
- ◎ 2歳あるいは3歳までは普通に発達していたのに、その後ことばが極端に少なくなったということはありませんか
音、味覚、さわられることに過敏に反応することはありませんか
視線を合わせますか
- ◎ 学校の先生からクラスについていけないといわれたことはありませんか
座っていることができなくてクラスに迷惑をかけていませんか
落ち着かせるための薬の服用を勧められたことはありませんか
- ◎ 脳性まひ、知的障害、ダウン症と診断されたことはありませんか
- ◎ 自閉症、多動、学習障害などと言われたことはありませんか
- ◎ ひきつけ、てんかんを起こしますか
- ◎ 高熱、脳炎、髄膜炎による脳障害の後遺症はありませんか
- ◎ 心的外傷ストレス症候群 (PTSD) によって脳の機能に問題がおきていませんか



人間能力開発研究所は
このような心配に対して
「何をしたらよいか」を
教えています

プログラムの対象になる子ども

先天性であれ、後天性であれ、受精の瞬間以降何らかの理由で正常な脳が傷ついてしまった人はすべてプログラムの対象になります。脳障害はさまざまな症状として現れます。知的障害、発達遅滞、多動性障害、脳性まひ、自閉症、てんかん、注意欠陥障害、学習障害は脳障害の症状です。高熱、脳炎などの後遺症や、交通事故によって脳に損傷を受ける場合もあります。ダウン症は遺伝子異常によって起こりますが、脳に障害をとまなうため対象になります。

人間能力開発研究所

The Institutes for the Achievement of Human Potential

米国フィラデルフィアにある人間能力開発研究所は、脳に障害を負った人の機能回復の方法を求めて1955年にグレン・ドーマンにより設立された非営利の組織です。脳障害によっておこる症状を治療するのではなく、脳への五つの情報経路（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）すべてを使って、脳そのものに働きかけることによって脳障害を治す方法を研究してきました。

あらゆる症状の脳障害を負った子どもたちが「健常」となることを目指して、世界各地から両親とともにこの研究所を訪れ、家庭で子どもに働きかける方法を学んでいます。現在、プログラムをおこなっているのは、麻痺、話すことができない、目が見えない、耳が聞こえない、昏睡状態である、といった重度の子どもから、学習障害だけの軽度の子どもまでさまざまです。

脳障害児の機能回復のためのプログラムは4つの分野からできていて、それぞれの分野において正常になることを目標としています。

1. 運動能力が発達し正常になること
2. 生理面で発達し正常になること
3. 知性が発達し正常になること
4. 社会性が発達し正常になること



グレン・ドーマン著「親こそ最良の医師」

「親こそ最良の医師」は脳障害児を持つ親のために書かれました。日本では1974年に出版されて以来、たくさんの脳障害児とその家族に希望をもたらしています。2000年に新訳で再版されたときには解剖学者養老孟司氏より「障害のある子どもの教育には熱意と愛情がある。それが絶望を希望に変える。そこから生まれた著者の思想は傾聴に値する。」という推薦をいただきました。

この本を読むことによって、人間能力開発研究所の基本的な考えが理解できます。その後グレン・ドーマンが乳幼児の能力開発について書いたその他の書籍も参考にして「自家製プログラム」を作り、家庭で子どもに働きかけを始めることができます。



「あなたの脳障害児になにをしたらよいか」コース

人間能力開発研究所でおこなわれる5日間のコースをビデオで収録し、日本語に吹き替えたものをご覧いただけます。人間能力開発研究所のスタッフが来日し、参加者は一時間ごとの休憩時間に直接質問できるので、フィラデルフィアの研究所と全く同じ質のコースを受けることができます。日本では年に一回神戸で開催しています。

コースの内容

脳の発達についての講義、デモンストレーション、実技などで構成される、合計50時間以上に及ぶものです。脳障害とはなにかに始まり、新生児からの脳の発達を知ることによって、自分の子どもの脳の発達と照らし合わせ、脳のどの部分にどの程度の障害があるのかを親自身が理解する方法を学びます。

コースの目的

子どもの脳の発達について両親に教え、コースで学んだことを家庭でおこなうプログラムに役に立てられるようにすることにあります。自分の子どもの脳のどの部分にどの程度の障害があるか、子どものためになにができるかを理解し、最終的には子どものプログラムを自分で作成し、家庭で実践することができるようになります。

参加者の声

- ◎脳障害についての正しい情報と定義、そして私の子どもに対する深い愛情があれば全てのことが可能だ、ということを確認しました。私に必要だったのはこれでした。
- ◎期待以上に素晴らしいものでした。実際にスタッフの方がいらして直接質問に答えてくれたり、プログラムをしているお子さんのデモンストレーションを見ることができ、とても感動しました。
- ◎今まで子どもと暮らしてきた年月の中の「なぜ」に、すべて答えがでた一週間でした。子どもが置かれている状況が理解できるようになりました。もっと早く受けたかったというのが今の気持ちです。

グレン・ドーマン GLENN DOMAN



グレン・ドーマンは、半世紀にわたり、全世界からご両親が訪ねてくる人間能力開発研究所の創始者です。1940年にペンシルベニア大学を卒業し、脳障害児、健常児に関わらず子どもの脳の発達に関する分野のパイオニアとして仕事を始めました。グレン・ドーマンと人間能力開発研究所の子どもの脳に関する業績は、1960年代初頭には、米国医学会の刊行物であるジャーナル・オブ・アメリカン・メディカル・アソシエーションに取り上げられ、脳障害児の治療の結果について書かれた初めての記事になりました。これまでに、135カ国から15,000家族が人間能力開発研究所を訪れています。グレン・ドーマンとスタッフは脳障害児を健常にするためのプログラムの完成を目指して現在も日々戦っています。

グレン・ドーマンは、世界各地でベストセラーとなっている、健常児のための《穏やかな革命シリーズ》の著者でもあります。数多くの榮譽ある賞を受賞しており、世界の子どもたちのための優れた業績を認められ、ブラジル政府からはナイトの称号を授与されています。

人間能力開発研究所のプログラムに関して くわしく知りたい方は ドーマン研究所に連絡してください

ドーマン研究所は人間能力開発研究所のプログラムを日本でより多くの人に知っていただくために設立された支部です。人間能力開発研究所の著作物を出版し、コースを開催しています。

また、人間能力開発研究所の脳障害児のためのプログラムをご両親が家庭で実践できるようサポートしています。

連絡先



ドーマン研究所

東京オフィス

〒107-0062 東京都港区南青山5-4-29

電話:03-3797-5950 FAX:03-3739-5963 メール:info@doman.co.jp

神戸オフィス

〒651-0064 兵庫県神戸市中央区大日通7-1-10-203

電話:078-251-3240 FAX:078-251-3612

ホームページ: <http://www.doman.co.jp>

「健常への道」

人間能力開発研究所は2005年に設立50周年を迎えます。この節目の年にあたり、50年の歳月をかけて蓄積した脳障害児に関する知識と情報を一冊の小冊子にまとめました。脳障害児のご両親に知って欲しいことを箇条書きで完結にまとめています。50周年を記念して無料でお送りしています。関心のある方はドーマン研究所に連絡してください。

